



2023年4月19日

各位

会社名 株式会社エスクロー・エージェント・ジャパン
 代表者名 代表取締役社長 成宮正一郎
 (コード番号：6093 東証プライム)
 問合せ先 取締役 管理本部担当 太田昌景
 (TEL. 03-6703-0500)

通期業績予想と実績値との差異及び貸倒引当金繰入額の計上に関するお知らせ

2023年2月期第4四半期連結会計期間において、貸倒引当金繰入額（販売費及び一般管理費）を計上したことにより、2022年12月15日に公表しました2023年2月期通期連結業績予想及び通期個別業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 2023年2月期通期連結業績予想と実績値との差異について

(2022年3月1日～2023年2月28日)

(百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当り 当期純利益
前回公表数値 (A)	3,835	363	396	238	5.47
実績値 (B)	3,710	208	245	76	1.75
増減額 (B-A)	△124	△154	△150	△162	
増減率 (%)	△3.3	△42.7	△38.1	△68.1	
(参考) 前期実績	3,552	614	619	406	9.37

2. 2023年2月期通期個別業績予想と実績値との差異について

(2022年3月1日～2023年2月28日)

(百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当り 当期純利益
前回公表数値 (A)	1,951	100	99	45	1.05
実績値 (B)	1,908	△59	△53	△116	△2.66
増減額 (B-A)	△43	△160	△153	△161	
増減率 (%)	△2.2	-	-	-	
(参考) 前期実績	1,978	270	272	183	4.22

3. 差異が生じた理由

当社を取り巻く環境において、住宅価格の高まりや固定金利の金利上昇を受け、住宅ローン市場では個人向けの貸出需要に停滞感がみられ、当社の取引先においても厳しい環境が続きました。

こうした状況のなか、売上高が想定を下回ったことに伴い、原価を抑制することができたものの、一部の取引先に対して貸倒引当金繰入額176百万円を販売費及び一般管理費に計上したことにより、2023年2月期の通期業績につきましては、連結・個別業績予想それぞれの売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益（当期純利益）が、2022年12月15日に公表いたしました業績予想を下回ることとなりました。

なお、期末の配当につきましては、1株当たり4円00銭から変更はございません。

4. 貸倒引当金繰入額（販売費及び一般管理費）の計上について

昨今の金融経済情勢から政策金利の引き上げも予想されるなか、住宅ローン市場停滞の影響によりキャッシュフローの悪化が懸念される一部の取引先に対する債権について、相手先の経営状況及び財務状況を踏まえて回収可能性を慎重に検討した結果、176百万円を販売費及び一般管理費に計上いたしました。

（参考）年間配当の内訳

基準日	1株当たり配当金（円）		
	第2四半期	期末	年間
当期実績		4円00銭 （普通配当 4円00銭）	4円00銭 （普通配当 4円00銭）
前期実績 （2022年2月期）		4円00銭 （普通配当 4円00銭）	4円00銭 （普通配当 4円00銭）

以上